

# 阿蘇市 財政事情

—令和4年11月公表—

阿蘇市総務部企画財政課

## ま え が き

この「財政事情」は、市民の皆様にも市の財政状況をご理解いただくとともに、今後のまちづくりに一層のご協力をお願いするため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び阿蘇市財政事情の作成及び公表に関する条例（平成17年阿蘇市条例第53号）に基づき、毎年2回（5月及び11月）定期的に公表しているものです。

今回は、令和3年度普通会計の決算状況を中心に、令和4年度上半期（4月～9月）における一般会計及び特別会計の予算推移、執行状況並びに市税等の市民負担の状況、市有財産の状況等について、そのあらましを説明します。

# 目 次

## 第1 令和3年度決算の状況

1 決算状況	1
2 歳入	
(1) 歳入の概況	2
(2) 歳入費目別増減理由	3
(3) 一般財源	6
(4) 自主財源と依存財源	7
3 歳出	
(1) 歳出の概況	8
(2) 目的別歳出	8
(3) 性質別歳出	10
(4) 決算収支	13
(5) 財政力指数	14
(6) 経常収支	14
(7) 健全化判断比率の状況	15
(8) 資金不足比率の状況	16

## 第2 令和4年度上半期における収入及び支出の状況

1 令和4年度上半期における補正予算の状況	
(1) 一般会計	17
(2) 特別会計	18
2 令和4年度上半期における予算の執行状況	
(1) 一般会計	19
(2) 特別会計	20

## 第3 市税の収入状況

令和4年度上半期における市税等の収入状況	22
----------------------	----

## 第4 市債及び一時借入金の状況

1 市債の状況	23
2 一時借入金の状況	24

## 第5 市有財産の状況

令和4年9月30日現在の市有財産の状況	25
(1) 土地及び建物	26
(2) 物品	28
(3) 有価証券	30
(4) 出資による権利	30
(5) 債権	31
(6) 基金	32

# 第1 令和3年度決算の状況

## 1 決算状況

### 令和3年度普通会計決算額

- 歳入：20,348,110千円（前年度比：△1,479,423千円 △6.8%）
- 歳出：18,621,372千円（前年度比：△1,869,035千円 △9.1%）

令和3年度決算額を前年度と比較しますと、表1のとおり、歳入が1,479,423千円減の20,348,110千円、歳出が1,869,035千円減の18,621,372千円となりました。減少の主な原因として、歳入については、新型コロナウイルス感染症対策事業関連の国庫支出金（特別定額給付金等）等の減少、歳出については、普通建設事業費を中心に投資的経費が抑えられるとともに、特別定額給付金等の大きな支出がなかったことにより減少しました。

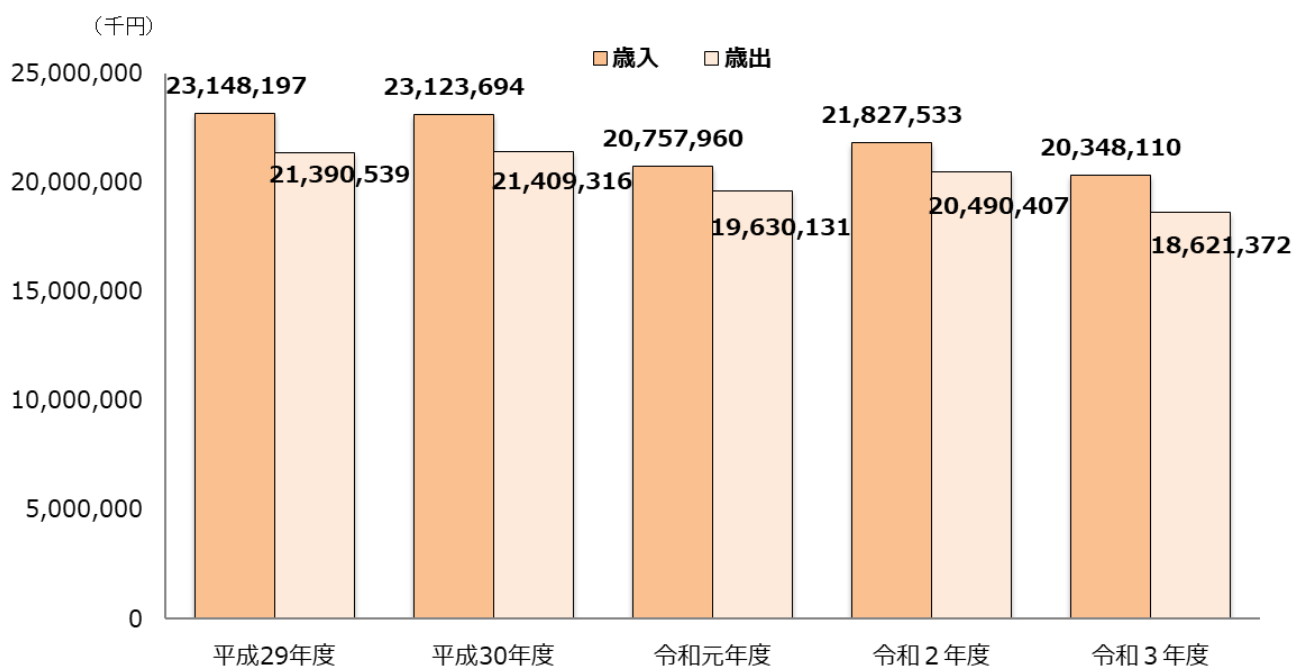
なお、決算額の推移は、図1のとおりです。

表1 歳入と歳出の総額及び差引

(単位：千円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
歳入	20,348,110	21,827,533	△1,479,423	△6.8
歳出	18,621,372	20,490,407	△1,869,035	△9.1
歳入歳出差引額	1,726,738	1,337,126	389,612	29.1
翌年度繰越財源	392,254	243,310	148,944	61.2
実質収支	1,334,484	1,093,816	240,668	22.0

図1 決算額の推移



## 2 歳入

### (1) 歳入の概況

令和3年度の歳入決算額は20,348,110千円で、前年度に比べ1,479,423千円減少しました。

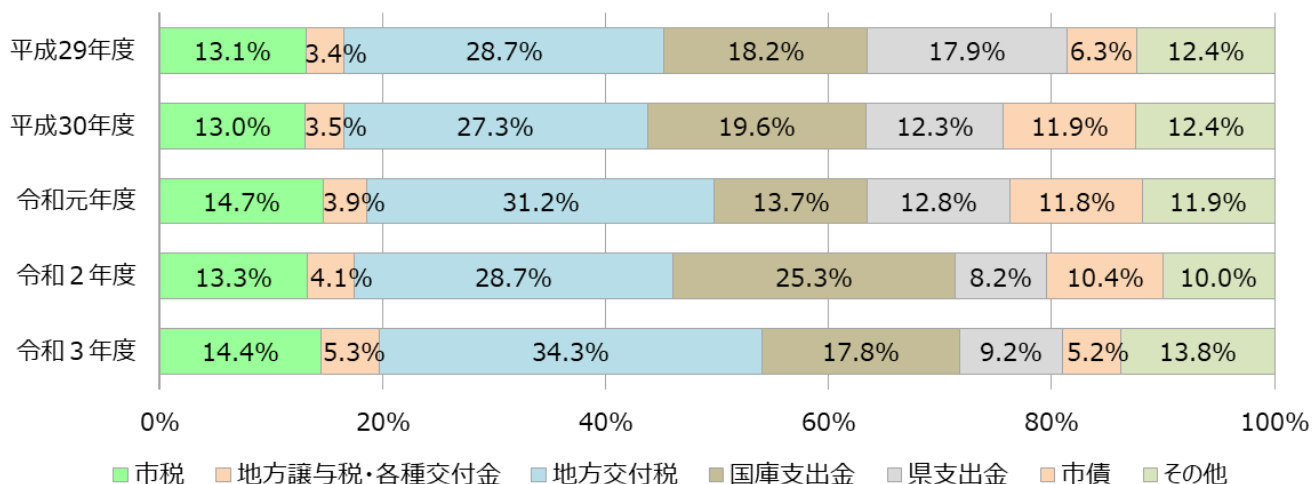
歳入決算額の内訳は表2、歳入決算額の構成比の推移は図2のとおりです。

表2 歳入決算額の内訳

(単位：千円)

区分	令和3年度		令和2年度		増減額
	決算額	構成比	決算額	構成比	
市税	2,932,341	14.4%	2,894,456	13.3%	37,885
地方譲与税	221,576	1.1%	218,992	1.0%	2,584
各種交付金	867,958	4.2%	682,195	3.1%	185,763
地方交付税	6,970,853	34.3%	6,256,578	28.7%	714,275
国庫支出金	3,615,577	17.8%	5,532,244	25.3%	△ 1,916,667
県支出金	1,876,166	9.2%	1,788,358	8.2%	87,808
繰入金	587,321	2.9%	346,524	1.6%	240,797
繰越金	1,337,126	6.6%	1,127,829	5.2%	209,297
市債	1,064,400	5.2%	2,275,800	10.4%	△ 1,211,400
その他	874,792	4.3%	704,557	3.2%	170,235
歳入合計	20,348,110	100.0%	21,827,533	100.0%	△ 1,479,423

図2 歳入決算額の構成比の推移



## (2) 歳入費目別増減理由

### ① 市税 2,932,341 千円 (前年度比 : +37,885 千円、+1.3%)

市民税については+20,912 千円となっており、このうち法人市民税が前年度落ち込んだ製造業等の販売額増加により、+22,145 千円となっています。

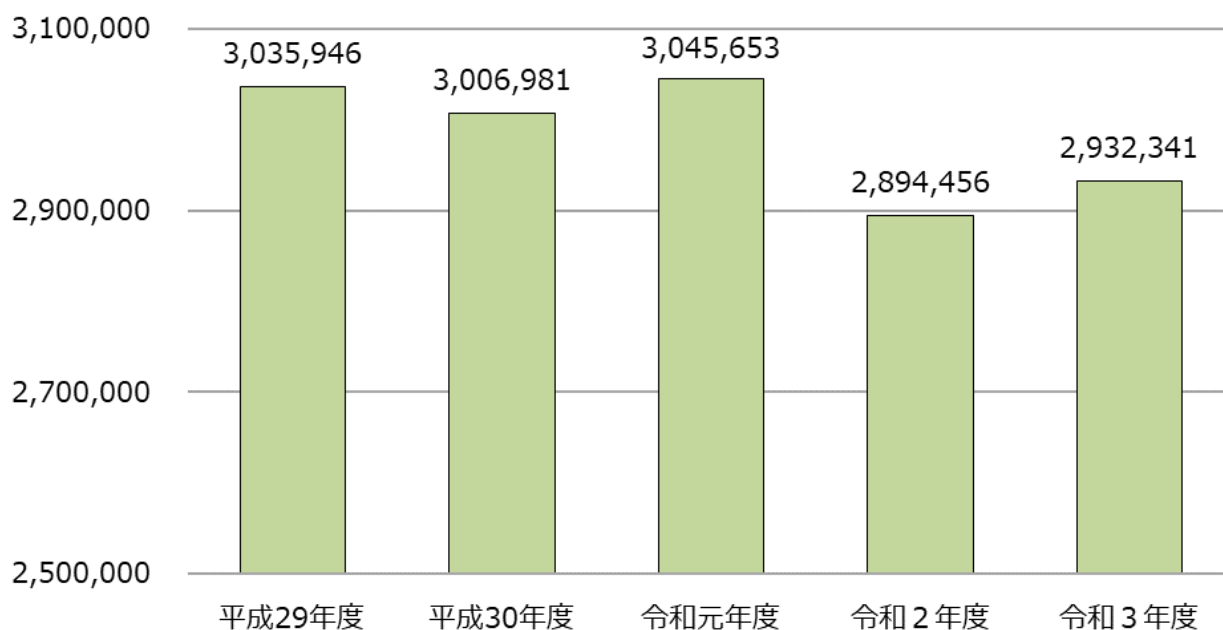
また、徴収猶予分（令和2年度分）の納付等により固定資産税が+1,947 千円、入湯税が+2,124 千円となっています。

さらに、税率の引き上げ等により、市たばこ税が+12,027 千円となっており、市税全体で 37,885 千円増加しています。

なお、徴収率については、前年度より増加しています。

図3 市税の収入額の推移

(単位：千円)



### ② 地方譲与税 221,576 千円 (前年度比 : +2,584 千円、+1.2%)

地方揮発油譲与税が+1,251 千円、自動車重量譲与税が+1,279 千円、森林環境譲与税が+54 千円により、地方譲与税全体で 2,584 千円増加しています。

### ③ 各種交付金 867,958 千円 (前年度比 : +185,763 千円、+27.2%)

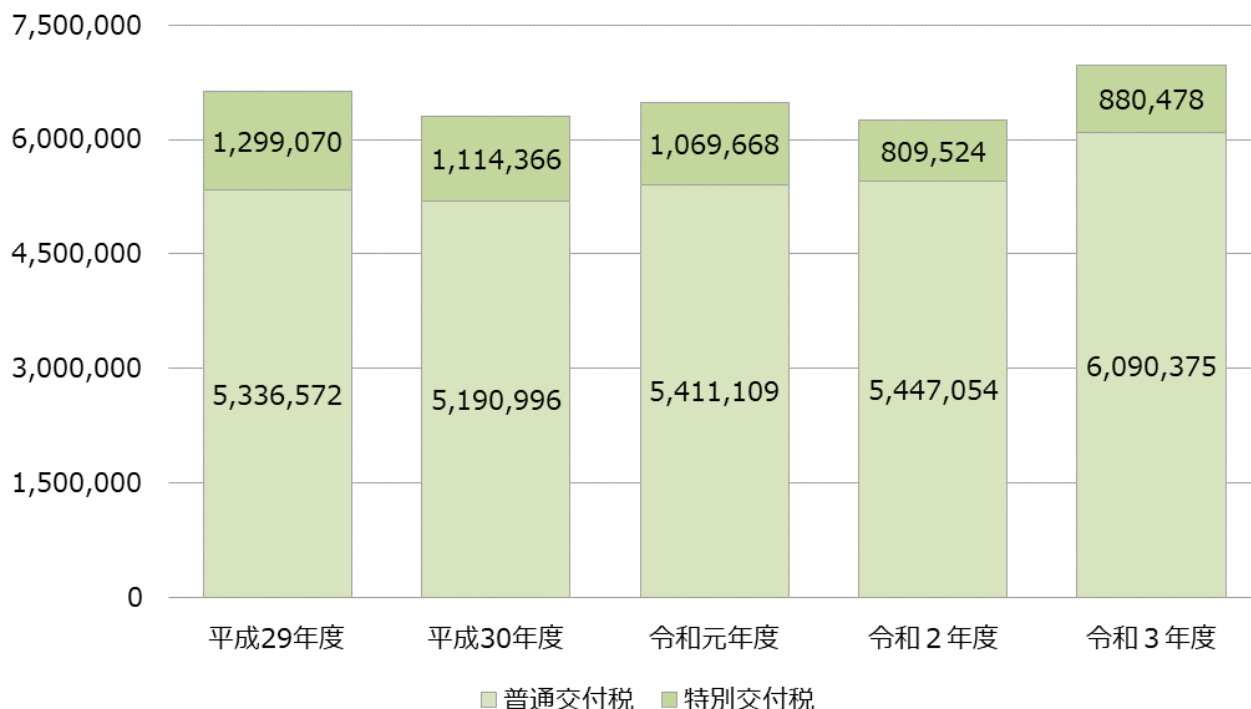
地方特例交付金が+113,673 千円、地方消費税交付金が+44,071 千円（うち社会保障財源化分+35,465 千円）、法人事業税交付金が+18,646 千円等により、各種交付金全体で 185,763 千円増加しています。

**④ 地方交付税 6,970,853 千円（前年度比：+714,275 千円、+11.4%）**

普通交付税は+643,321 千円、特別交付税は+70,954 千円となり、地方交付税全体で 714,275 千円増加しています。

図4 地方交付税の推移

（単位：千円）



**⑤ 分担金及び負担金 60,979 千円（前年度比：△1,963 千円、△3.1%）**

汚泥再生処理施設搬入道路拡張工事負担金（阿蘇広域）が+4,532 千円、阿蘇世界文化遺産登録推進市町村共同事業負担金が△4,594 千円、老人保護措置費負担金が△1,532 千円等により、分担金及び負担金全体で 1,963 千円減少しています。

**⑥ 使用料及び手数料 218,393 千円（前年度比：+9,125 千円、+4.4%）**

保育料が△5,482 千円、夢の湯浴室使用料が+9,058 千円、他市町村保育負担金（受託分）が+4,427 千円等により、使用料及び手数料全体で 9,125 千円増加しています。

**⑦ 国庫支出金 3,615,577 千円（前年度比：△1,916,667 千円、△34.6%）**

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金が+317,100 千円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金が+273,200 千円、特別定額給付金給付事業費補助金が△2,569,000 千円等により、国庫支出金全体で 1,916,667 千円減少しています。

**⑧ 県支出金 1,876,166 千円（前年度比：+87,808 千円、+4.9%）**

農業次世代人材投資事業補助金が△13,400 千円、多面的機能支払交付金事業補助金が△12,116 千円、産地生産基盤パワーアップ事業整備事業費補助金が+120,861 千円等により、県支出金全体で 87,808 千円増加しています。

**⑨ 財産収入 69,181 千円（前年度比：△1,365 千円、△1.9%）**

旧九門団地敷地売払収入が+16,150 千円、西平川1 砂防堰堤用地売払収入が+5,368 千円、九電跡地売払収入が△13,110 千円、里道・水路用途廃止による売払収入が△10,580 千円等により、財産収入全体で1,365 千円減少しています。

**⑩ 寄附金 239,055 千円（前年度比：+46,977 千円、+24.5%）**

A S O 環境共生基金寄附金が△1,045 千円、阿蘇市ふるさと応援寄附金が+46,307 千円等により、寄附金全体で46,977 千円増加しています。

**⑪ 繰入金 587,321 千円（前年度比：+240,797 千円、+69.5%）**

下水道事業特別会計繰入金（精算金）が△26,358 千円、熊本地震復興基金繰入金が+295,433 千円、地域振興基金繰入金が+43,000 千円等により、繰入金全体で240,797 千円増加しています。

**⑫ 繰越金 1,337,126 千円（前年度比：+209,297 千円、+18.6%）**

繰越事業費等充当財源繰越額が△77,802 千円、前年度繰越金が+287,099 千円により、繰越金全体で209,297 千円増加しています。

**⑬ 諸収入 287,184 千円（前年度比：+117,461 千円、+69.2%）**

森林保険金（南河原団地分）が+20,603 千円、旧古城小学校屋根改修工事等負担金が+18,500 千円、既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業補助金が+17,169 千円、地域スポーツ施設整備助成金が+16,000 千円等により、諸収入全体で117,461 千円増加しています。

**⑭ 市債 1,064,400 千円（前年度比：△1,211,400 千円、△53.2%）**

緊急防災・減災事業債が△586,900 千円、過疎対策事業債が△455,400 千円、合併特例債が△134,600 千円等により、市債全体で1,211,400 千円減少しています。



### (3) 一般財源

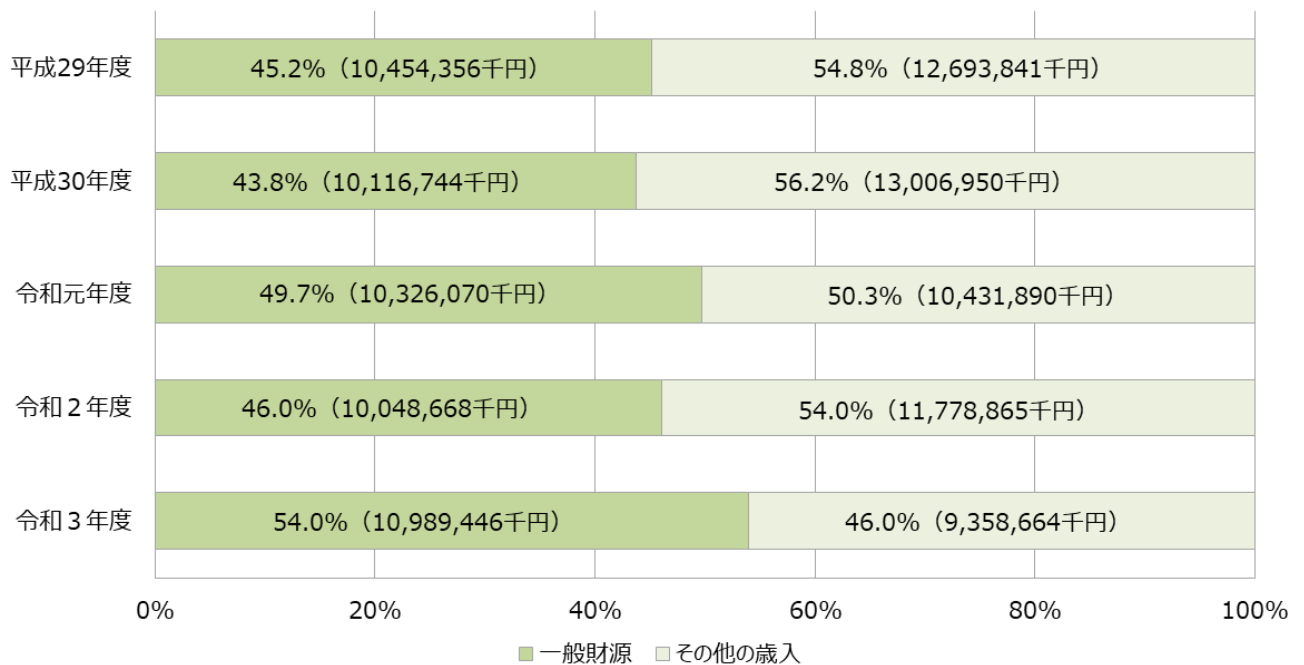
一般財源とは、市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰越金等の合計額のことです。

一般財源は、その用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるため、歳入総額に占める割合が大きいほど、地方自治体の自由度が高まることになります。

令和3年度の一般財源の額は10,989,446千円で、前年度に比べ+940,778千円(+9.4%)となっており、歳入総額に占める一般財源の割合は54.0%(前年度比+8.0ポイント)となりました。

歳入総額に占める一般財源の割合は、図5のようになっています。

図5 歳入総額に占める一般財源の割合



#### (4) 自主財源と依存財源

自主財源とは市税や施設使用料等のように自主的に収入しうる財源のことで、依存財源とは国及び県の意味により定められた額を交付されたり、割り当てられたりして得られる財源のことです。歳入総額を自主財源と依存財源に分類すると、以下のようになります。

令和3年度の自主財源の総額は5,731,580千円であり、前年度に比べて+658,214千円(+13.0%)となっています。また、歳入総額に占める自主財源の割合は28.2%(前年度比+5.0ポイント)となり、自主財源のうち51.2%は、市税が占めています。

各財源の割合は図6、推移は図7のようになっています。

図6 自主財源と依存財源

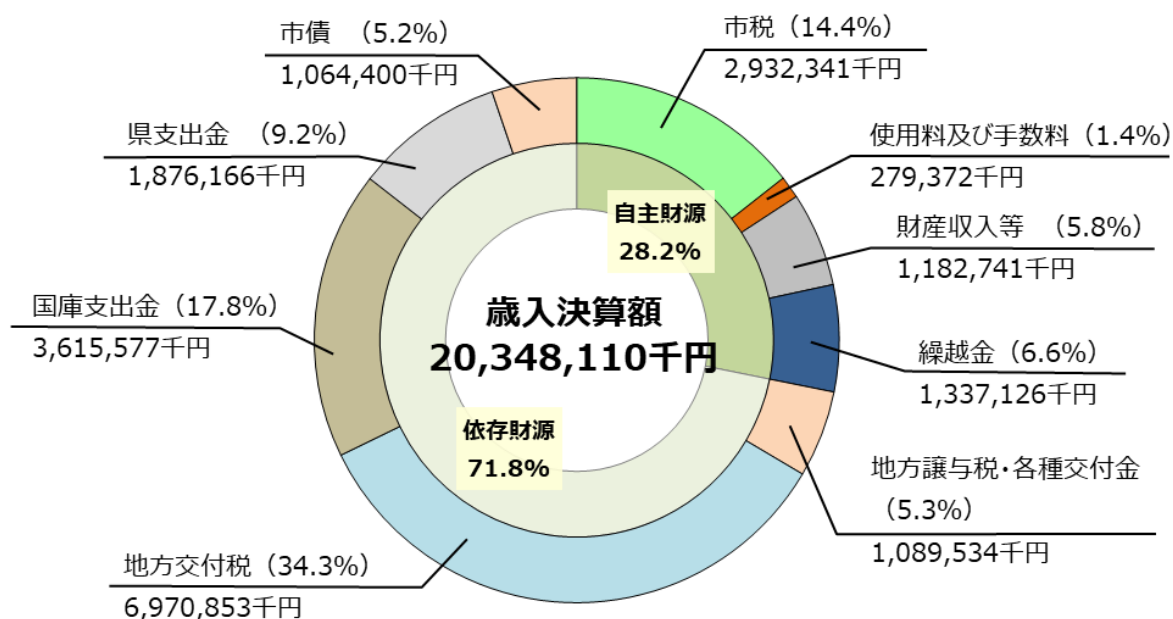
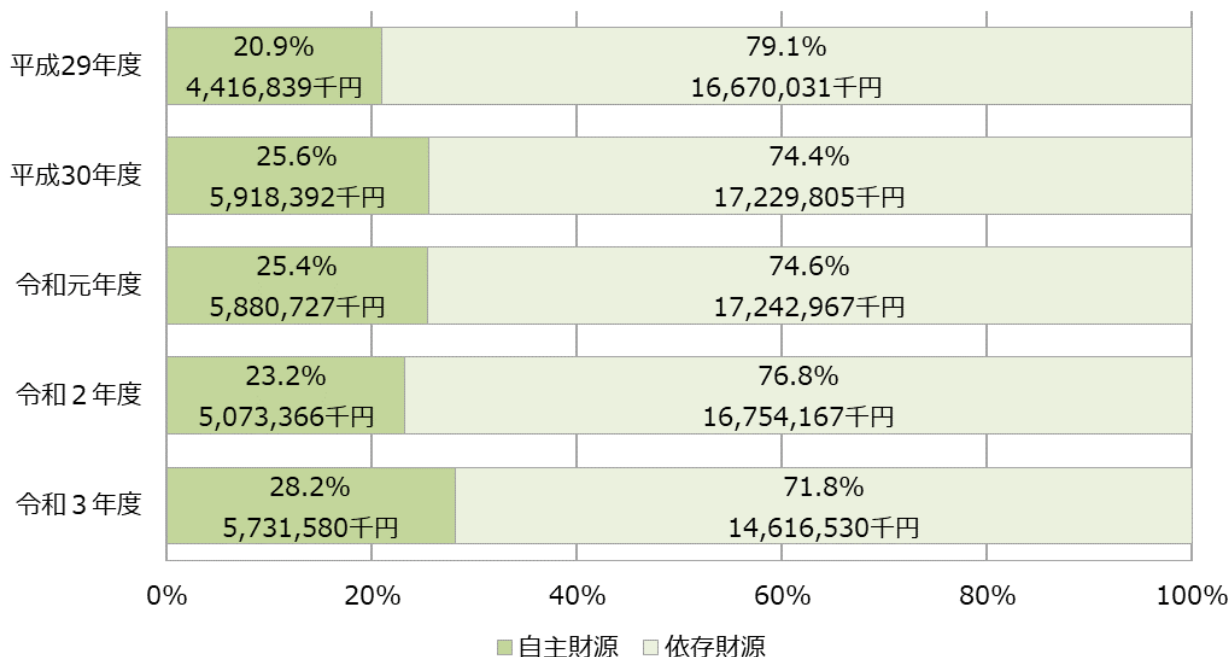


図7 自主財源と依存財源の推移



### 3 歳出

#### (1) 歳出の概況

令和3年度歳出決算額は18,621,372千円で、前年度に比べ1,869,035千円(9.1%)の減になりました。

#### (2) 目的別歳出

歳出の目的別分類は、行政活動のどの分野にどれだけの経費が投入されたかを調べるためのものです。

歳出決算額の目的別分類は表3、構成比は図8のとおりとなっています。

なお、民生費6,451,279千円(34.6%)が最も多く、総務費2,344,109千円(12.6%)、公債費1,939,669千円(10.4%)の順となっています。

また、決算額の割合の推移については、図9のとおりとなっています。

表3 目的別歳出一覧

(単位：千円、%)

区分	令和3年度		令和2年度		増減額
	決算額	構成比	決算額	構成比	
議会費	132,725	0.7	135,279	0.7	△ 2,554
総務費	2,344,109	12.6	4,360,347	21.3	△ 2,016,238
民生費	6,451,279	34.6	5,758,430	28.1	692,849
衛生費	1,660,986	8.9	1,389,276	6.8	271,710
労働費	0	0.0	0	0.0	0
農林水産業費	1,562,806	8.4	1,954,645	9.5	△ 391,839
商工費	1,122,752	6.0	1,056,321	5.2	66,431
土木費	1,574,172	8.5	1,464,858	7.2	109,314
消防費	600,466	3.2	1,196,746	5.8	△ 596,280
教育費	1,055,045	5.7	1,258,688	6.1	△ 203,643
災害復旧費	177,363	1.0	172,311	0.8	5,052
公債費	1,939,669	10.4	1,743,506	8.5	196,163
歳出合計	18,621,372	100.0	20,490,407	100.0	△ 1,869,035

図8 目的別歳出決算額

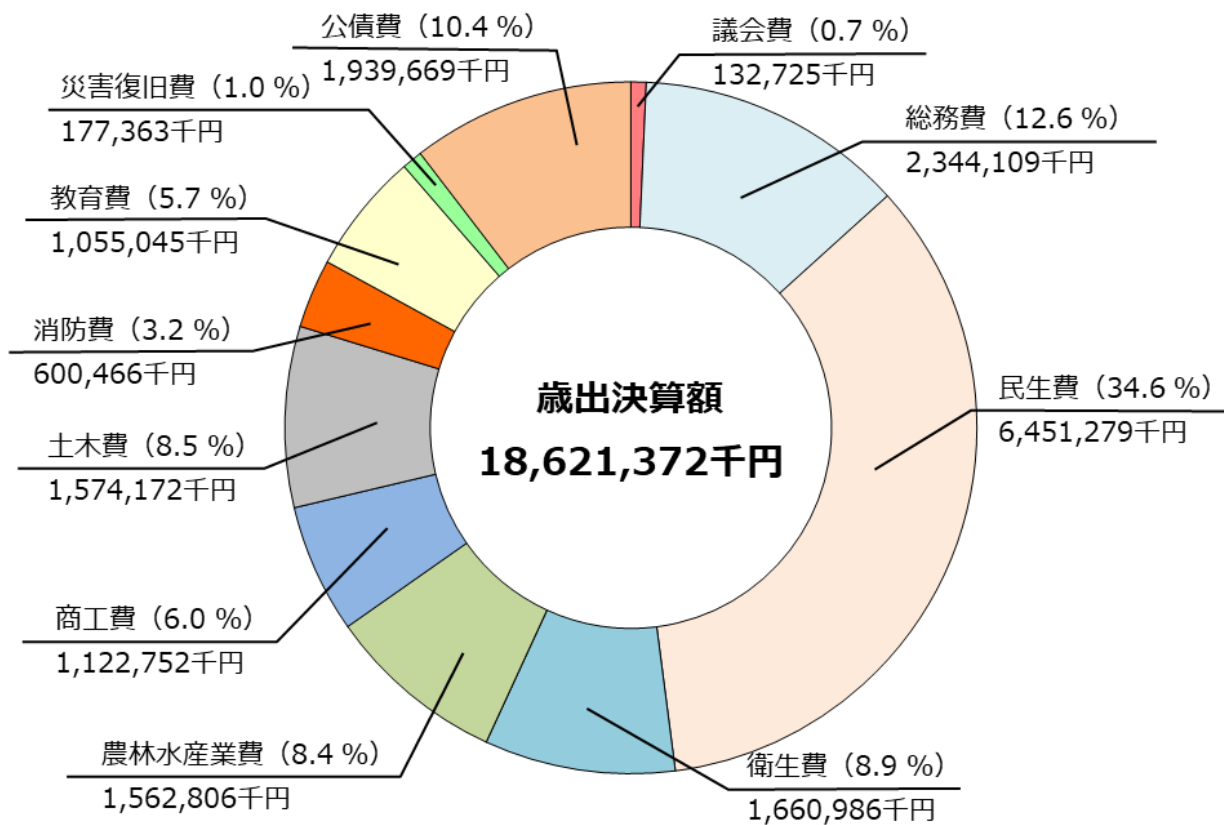
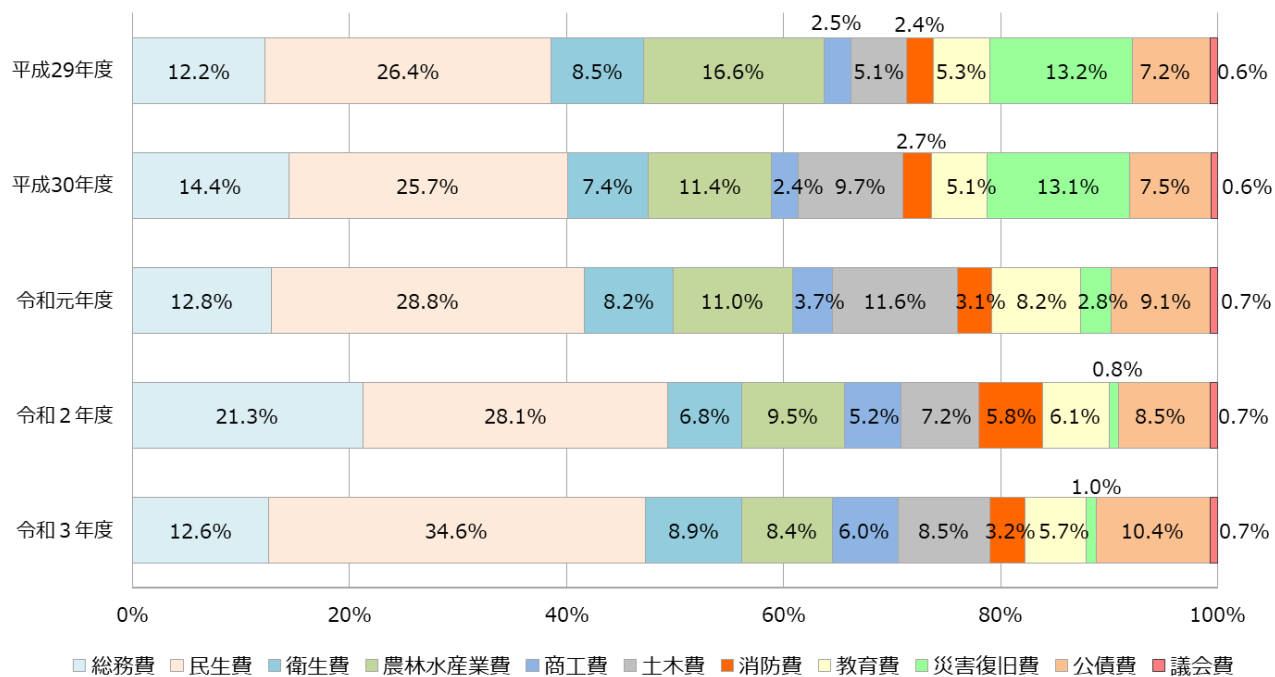


図9 目的別歳出決算額の割合の推移



### (3) 性質別歳出

#### ア 概況

地方公共団体の経費を性質別に分類すると、以下の3つに大別することができます。

- ・義務的経費…人件費、扶助費、公債費
- ・投資的経費…普通建設事業費、災害復旧事業費
- ・その他の経費…物件費、補助費等、繰出金、その他（維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金）

歳出決算額の性質別分類及び構成比をみると、義務的経費 8,057,603 千円（43.3%）、投資的経費 2,163,572 千円（11.6%）、その他の経費 8,400,197 千円（45.1%）となっています。

これらを詳細に見ると、補助費等が 4,096,167 千円（22.0%）で最も大きな割合を占め、次いで扶助費 3,606,969 千円（19.4%）となっています（表4）。

なお、各費目の決算額及び構成比の推移については図10、図11のとおりです。

表4

（単位：千円）

区分	令和3年度		令和2年度		増減額
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1. 義務的経費	8,057,603	43.3%	7,193,999	35.1%	863,604
人件費	2,510,965	13.5%	2,445,342	11.9%	65,623
扶助費	3,606,969	19.4%	3,005,151	14.6%	601,818
公債費	1,939,669	10.4%	1,743,506	8.6%	196,163
2. 投資的経費	2,163,572	11.6%	3,346,246	16.3%	△ 1,182,674
普通建設事業費（補助）	1,083,077	5.8%	1,141,613	5.6%	△ 58,536
普通建設事業費（単独）	903,132	4.9%	2,032,322	9.9%	△ 1,129,190
災害復旧事業費	177,363	0.9%	172,311	0.8%	5,052
3. その他の経費	8,400,197	45.1%	9,950,162	48.6%	△ 1,549,965
物件費	2,019,306	10.8%	1,874,074	9.1%	145,232
補助費等	4,096,167	22.0%	6,158,974	30.1%	△ 2,062,807
繰出金	1,787,995	9.6%	1,796,657	8.8%	△ 8,662
その他	496,729	2.7%	120,457	0.6%	376,272
歳出合計	18,621,372	100.0%	20,490,407	100.0%	△ 1,869,035

#### ● 義務的経費（前年度比：+863,604千円、+12.0%）

「人件費」は任期の定めのない常勤職員等の基本給及び手当、退職手当負担金（特別負担金含む）等の増加に伴い+65,623千円、「扶助費」は臨時特別給付金（子育て世帯、住民税非課税世帯）等の増加により+601,818千円、「公債費」は熊本地震関連事業の元金償還開始に伴う災害復旧事業債及び臨時財政対策債等の増加により+196,163千円となったことから、義務的経費は863,604千円増加しています。

● **投資的経費（前年度比：△1,182,674千円、△35.3%）**

「普通建設事業費」は防災行政無線デジタル化整備事業や子育て支援センター移転改修事業等の減少により△1,187,726千円、「災害復旧事業費」は大雨による災害復旧事業の増加により+5,052千円となり、投資的経費は1,182,674千円減少しています。

● **その他の経費（前年度比：△1,549,965千円、△15.6%）**

「物件費」は新型コロナワクチン接種関連事業、仙酔峡駅舎等解体事業等により+145,232千円、「補助費等」は特別定額給付金等の減少により△2,062,807千円、「積立金」は地域情報化基盤整備基金、財政調整基金等の積立により+371,810千円、「繰出金」は国民健康保険事業特別会計繰出金、介護保険事業特別会計繰出金等の減少により△8,662千円となり、その他の経費は1,549,965千円減少しています。

図10 性質別歳出決算額の内訳

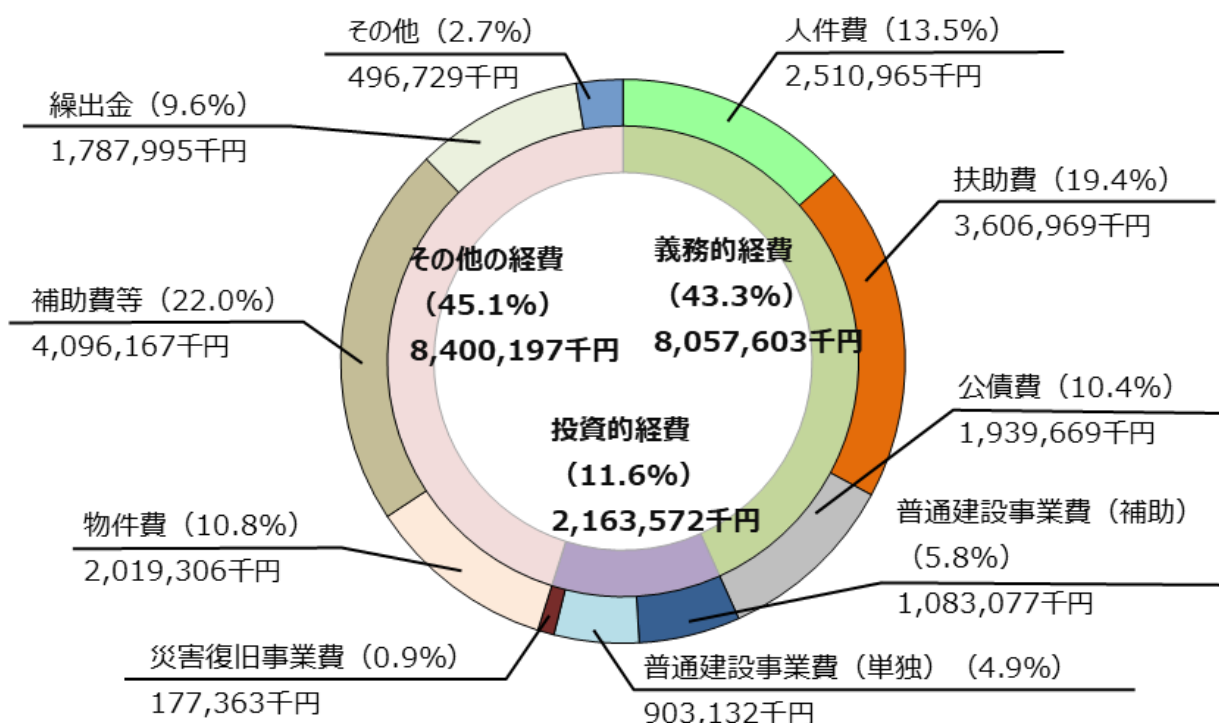
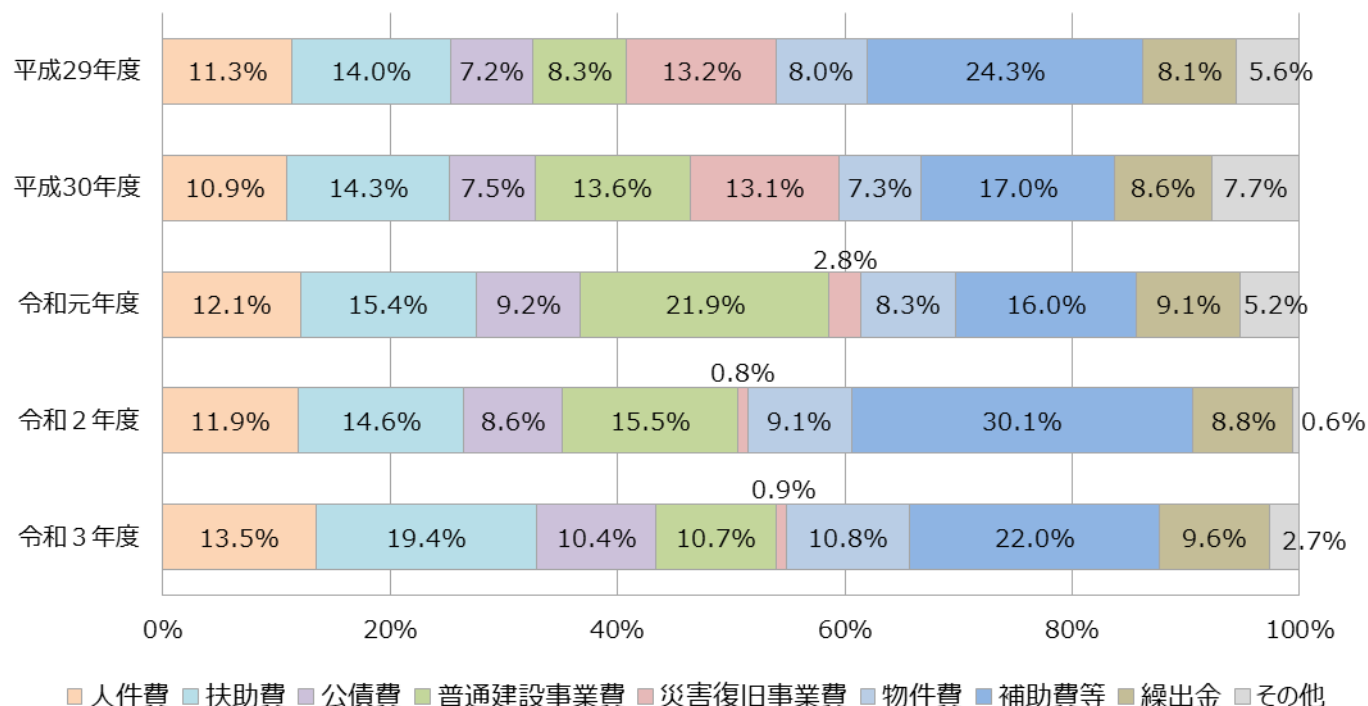


図 1 1 性質別決算構成比の推移



イ 義務的経費

義務的経費は法令上又はその性質上支出を義務付けられている経費のことを指し、人件費、扶助費、公債費からなっています。

義務的経費の歳出総額に占める割合の推移は、次の表 5 のとおりです。

表 5 歳出総額に占める義務的経費の割合の推移 (単位：%)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
義務的経費	32.5	32.7	36.7	35.1	43.3

ウ 投資的経費

投資的経費は、道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅等の建設に要する経費のことを指し、普通建設事業費と災害復旧事業費からなっています。

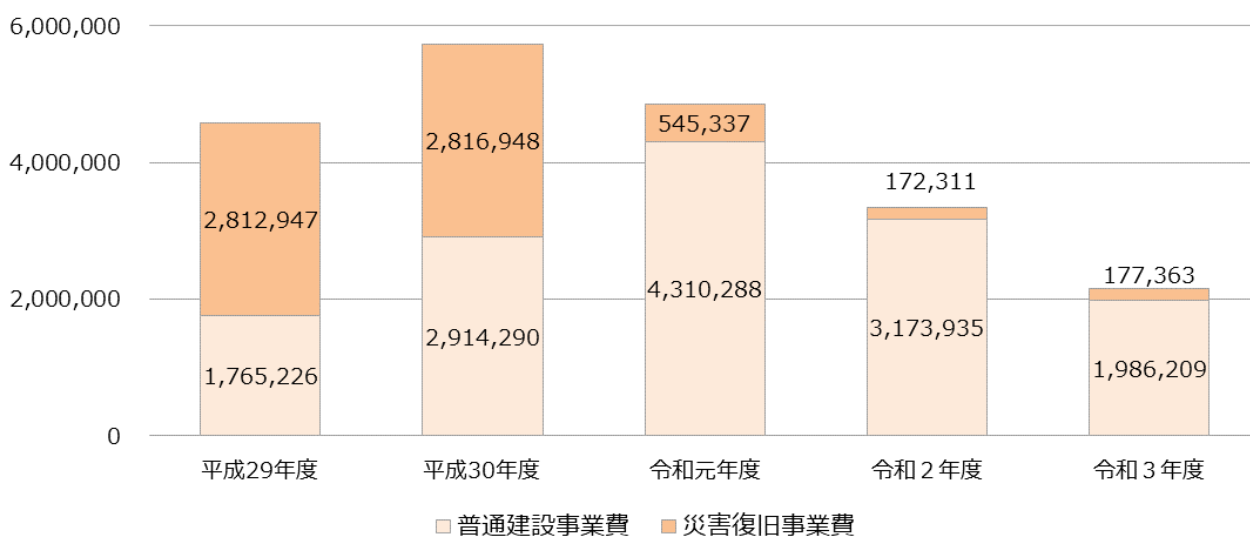
投資的経費の歳出総額に占める割合の推移は、次の表 6 のとおりです。

表 6 歳出総額に占める投資的経費の割合の推移 (単位：%)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
投資的経費	21.4	26.8	24.7	16.3	11.6

図 1 2 投資的経費の推移

(単位：千円)



#### (4) 決算収支

決算収支には、次の4種類があります。

- 形式収支 …… 歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額
- 実質収支 …… 形式収支から翌年度に繰り越すべき財源<sup>※</sup>を差し引いた額
- 単年度収支 …… 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
- 実質単年度収支 …… 単年度収支に財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額を加え、財政調整基金の取崩額を差し引いた額

※ 翌年度に繰り越すべき財源

継続費通次繰越、繰越明許費繰越、事故繰越、事故繰越及び支払繰延に伴い翌年度に繰り越すもの。

表 7 決算収支の状況

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度
形式収支	1,726,738	1,337,126
翌年度に繰り越すべき財源	392,254	243,310
実質収支	1,334,484	1,093,816
単年度収支	240,668	287,098
実質単年度収支	440,905	287,422



## (5) 財政力指数

財政力指数は、財政力を測定する一つの尺度で、「基準財政収入額÷基準財政需要額」で表されます。標準的な行政を行う場合に必要とされる経費（基準財政需要額）が自主的に徴収される標準的な収入（基準財政収入額）でどれだけ賄われているかという割合で、その値が大きいほどその団体の財政基盤が強いことを示します。

なお、基準財政需要額が基準財政収入額を上回ると、地方交付税が交付されることになります。

表8 財政力指数の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財政力指数	0.35	0.36	0.36	0.37	0.35

## (6) 経常収支

経常収支比率とは財政構造の弾力性を判断する指標の一つで、歳出決算額を経常的経費と臨時的経費に区分し、このうち経常的経費に充当された一般財源等の経常一般財源等総額に対する割合をいいます。

すなわち、市税、普通交付税を中心とする経常一般財源が、人件費、扶助費、公債費等の縮減することが困難な経常的経費へ投入された割合を明らかにすることによって財政構造の弾力性を判断しようとするものです。

図13 経常収支の状況の推移

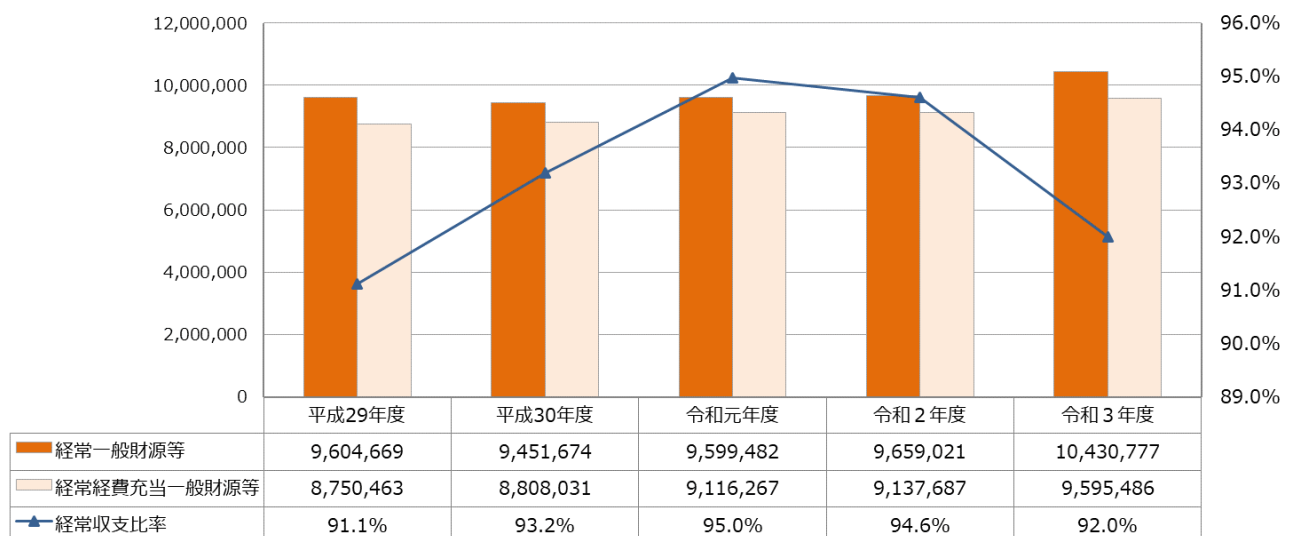
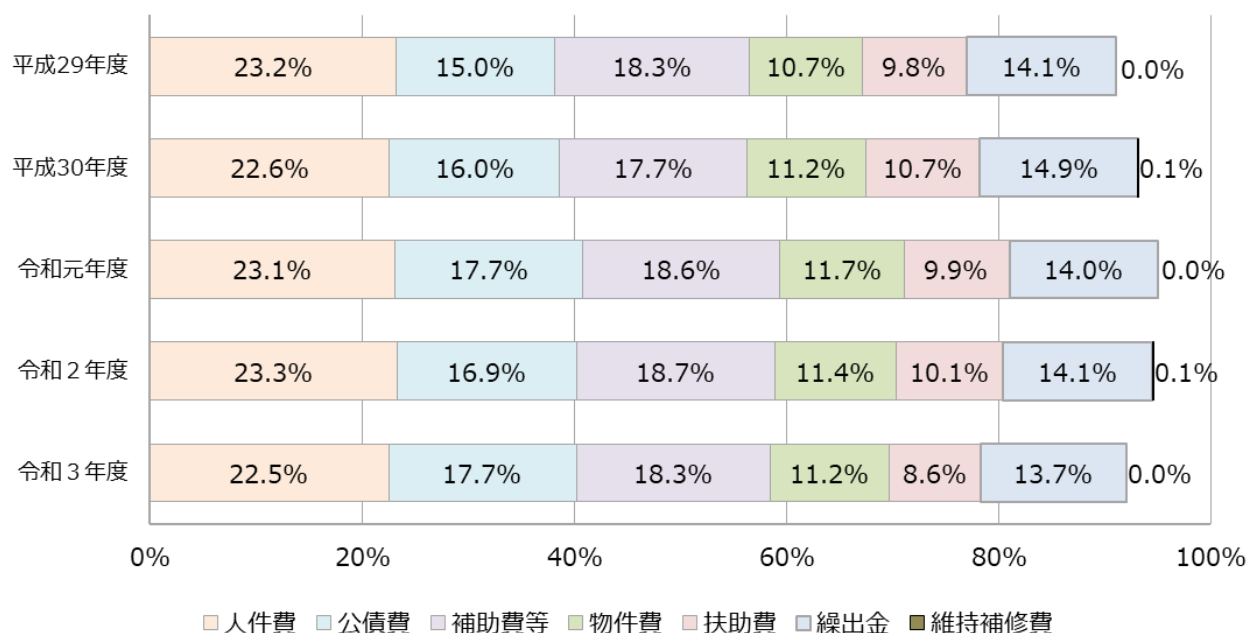


図 1 4 経常一般財源の経常的経費に対する充当率



### (7) 健全化判断比率の状況

令和3年度決算に基づく阿蘇市の健全化判断比率は、次の表9のとおりです。

表9 健全化判断比率の状況 ※括弧内は、前年度の数値 (単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
阿蘇市	- (-)	- (-)	8.1 (7.8)	47.4 (61.1)
早期健全化基準	13.29	18.29	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-

#### ● 実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率であり、これが生じた場合には赤字の早期解消を図る必要があります。令和3年度は該当ありません。

#### ● 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率であり、これが生じた場合には問題のある赤字会計が存在することとなり、赤字の早期解消を図る必要があります。令和3年度は該当ありません。

#### ● 実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率の3ヶ年平均値であり、18%を超えると起債の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債発行が制限されます。

令和3年度は、熊本地震に係る災害対策債の元利償還が始まったこと等により単年度の値が8.3%となり、3ヶ年の平均値では0.3ポイント上昇しました。

## ● 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であり、これらの負債が将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。

令和3年度は、計算上の分母となる標準財政規模等が増加し、分子となる将来負担額等が減少したため将来負担すべき実質的な負担額が減少したことにより、将来負担比率も13.7%減少しました。

### (8) 資金不足比率の状況

資金不足比率は、各公営企業の資金不足額の事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準（20%）以上となった場合には、経営健全化計画を策定しなければなりません。

令和3年度では、下水道事業特別会計に資金不足が生じています。新型コロナウイルス感染症に係る「まん延防止等重点措置」等の影響により、令和3年度下水道使用料収入実績が見込みを大幅に下回ったことがマイナス収支の原因となっています。

表10 資金不足比率の状況

特別会計の名称	資金不足比率
水道事業会計	—
病院事業会計	—
下水道事業特別会計	6.9

## 第2 令和4年度上半期における収入及び支出の概況

### 1 令和4年度上半期（令和4年4月1日～令和4年9月30日）における予算の状況

#### (1) 一般会計

歳入予算の状況

表1-1 歳入内訳

(単位：千円)

区分	款名	当初予算額	1号補正	2号補正	3号補正	4号補正	5号補正	6号補正	現計予算
自主財源	市税	2,943,131							2,943,131
	うち 個人市民税	933,210							933,210
	うち 法人市民税	163,877							163,877
	うち 固定資産税	1,508,302							1,508,302
	うち 軽自動車税	112,936							112,936
	うち 市たばこ税	195,980							195,980
	うち 鉱産税	18							18
	うち 入湯税	28,808							28,808
	分担金及び負担金	264,098					71	2,000	266,169
	使用料及び手数料	183,263		54					183,317
	財産収入	45,457		1,228		1,087			47,772
	寄附金	301,600							301,600
	繰入金	1,018,594		8,483		▲ 728,891			298,186
繰越金	200,000				1,134,483			1,334,483	
諸収入	182,851		▲ 1,798		30,437			211,490	
計	5,138,994		7,967		437,187	2,000		5,586,148	
依存財源	地方譲与税	242,652							242,652
	利子割交付金	700							700
	配当割交付金	3,300							3,300
	株式等譲渡所得割交付金	18,300							18,300
	法人事業税交付金	15,900							15,900
	地方消費税交付金	559,100							559,100
	ゴルフ場利用税交付金	29,600							29,600
	環境性能割交付金	19,700							19,700
	地方特例交付金	9,200				9,558			18,758
	地方交付税	5,785,000							5,785,000
	うち 普通交付税	5,400,000							5,400,000
	うち 特別交付税	385,000							385,000
	交通安全対策特別交付金	3,000							3,000
	国庫支出金	1,852,359	41,116	423,306		255,973	11,100	205,700	2,789,554
	県支出金	1,623,460		126,825	7,310	215,926	400		1,973,921
市債	801,700		▲ 42,500	3,500	33,300			796,000	
計	10,963,971	41,116	507,631	10,810	514,757	11,500	205,700	12,255,485	
歳入合計	16,102,965	41,116	515,598	10,810	951,944	13,500	205,700	17,841,633	

歳出予算の状況

表 1 2 目的別歳出内訳

(単位：千円)

款名	当初予算額	1号補正	2号補正	3号補正	4号補正	5号補正	6号補正	現計予算
議会費	139,007		428		678			140,113
総務費	1,763,803		5,913		43,857			1,813,573
民生費	5,748,281	41,116	109,321	7,310	100,105	400	205,700	6,212,233
衛生費	1,808,480		141,213		92,337			2,042,030
農林水産業費	1,203,205		117,156		284,815			1,605,176
商工費	759,529		148,653		143,273			1,051,455
土木費	1,007,038		▲ 36,536		57,981			1,028,483
消防費	560,102				14,000			574,102
教育費	1,006,471		14,381		138,918			1,159,770
災害復旧費	11,060		5,300		948	28,725		46,033
公債費	2,056,126							2,056,126
諸支出金								
予備費	39,863		9,769	3,500	75,032	△ 15,625		112,539
<b>歳出合計</b>	<b>16,102,965</b>	<b>41,116</b>	<b>515,598</b>	<b>10,810</b>	<b>951,944</b>	<b>13,500</b>	<b>205,700</b>	<b>17,841,633</b>

(2) 特別会計

歳入及び歳出予算の状況

表 1 3 特別会計別予算規模

(単位：千円)

区分	会計名	当初予算額	1号補正	2号補正	3号補正	現計予算
特別会計	阿蘇山観光事業特別会計	72,000				72,000
	下水道事業特別会計	525,950	19,931			545,881
	国民健康保険事業特別会計	3,528,358	3,214	53,739		3,585,311
	介護保険事業特別会計	3,473,648	△ 4,269	128,488		3,597,867
	後期高齢者医療事業特別会計	525,934	△ 6,834	10,083		529,183
	坂梨財産区特別会計	11,405	13,000			24,405
	古城財産区特別会計	6,801	2,016			8,817
	中通財産区特別会計	18,159	159	9,141		27,459
	宮地財産区特別会計	39				39

## 2. 令和4年度上半期（令和4年4月1日～令和4年9月30日）における予算執行状況

### (1) 一般会計

表14 歳入予算執行状況（9月30日現在）

（単位：千円、％）

区分	款名	予算現額 (a)		収入済額 (b)		収入率
		金額	構成比	金額	構成比	b/a*100
自主財源	市税	2,943,131	16.5	1,858,928	20.8	63.2
	うち 個人市民税	933,210	5.2	498,138	5.6	53.4
	うち 法人市民税	163,877	0.9	114,226	1.3	69.7
	うち 固定資産税	1,508,302	8.5	1,015,795	11.3	67.3
	うち 軽自動車税	112,936	0.6	106,603	1.2	94.4
	うち 市たばこ税	195,980	1.1	110,142	1.2	56.2
	うち 鉱産税	18	0.0	6	0.0	33.3
	うち 入湯税	28,808	0.2	14,018	0.2	48.7
	分担金及び負担金	266,169	1.5	22,489	0.3	8.4
	使用料及び手数料	183,317	1.0	84,295	0.9	46.0
	財産収入	47,772	0.2	20,126	0.2	42.1
	寄附金	301,600	1.7	57,525	0.6	19.1
	繰入金	298,186	1.7	16,200	0.2	5.4
	繰越金	1,334,483	7.5	1,334,484	14.9	100.0
諸収入	211,490	1.2	34,068	0.4	16.1	
	<b>計</b>	<b>5,586,148</b>	<b>31.3</b>	<b>3,428,115</b>	<b>38.3</b>	<b>61.4</b>
依存財源	地方譲与税	242,652	1.4	73,045	0.8	30.1
	利子割交付金	700	0.0	293	0.0	41.9
	配当割交付金	3,300	0.0	4,740	0.0	143.6
	株式等譲渡所得割交付金	18,300	0.1	0	0.0	0.0
	法人事業税交付金	15,900	0.1	21,344	0.2	134.2
	地方消費税交付金	559,100	3.1	337,009	3.8	60.3
	ゴルフ場利用税交付金	29,600	0.2	11,385	0.1	38.5
	環境性能割交付金	19,700	0.1	4,993	0.1	25.3
	地方特例交付金	18,758	0.1	18,758	0.2	100.0
	地方交付税	5,785,000	32.5	4,356,238	48.7	75.3
	うち 普通交付税	5,400,000	30.3	4,356,238	48.7	80.7
	うち 特別交付税	385,000	2.2	0	0.0	0.0
	交通安全対策特別交付金	3,000	0.0	1,551	0.0	51.7
	国庫支出金	2,789,554	15.6	349,960	4.0	12.5
	県支出金	1,973,921	11.1	343,412	3.8	17.4
	市債	796,000	4.4	0	0.0	0.0
	<b>計</b>	<b>12,255,485</b>	<b>68.7</b>	<b>5,522,728</b>	<b>61.7</b>	<b>45.1</b>
	<b>歳入合計</b>	<b>17,841,633</b>	<b>100.0</b>	<b>8,950,843</b>	<b>100.0</b>	<b>50.2</b>

表15 歳出予算執行状況（9月30日現在）

（単位：千円、％）

款名	予算現額 (a)		支出済額 (b)		支出率 b/a*100
	金額	構成比	金額	構成比	
議会費	140,113	0.8	76,345	1.1	54.5
総務費	1,813,573	10.2	708,389	10.3	39.1
民生費	6,212,233	34.8	1,991,998	28.7	32.1
衛生費	2,042,030	11.4	1,031,504	14.9	50.5
農林水産業費	1,605,176	9.0	561,785	8.1	35.0
商工費	1,051,455	5.9	320,988	4.6	30.5
土木費	1,028,483	5.8	406,420	5.8	39.5
消防費	574,102	3.2	337,897	4.9	58.9
教育費	1,159,770	6.5	482,473	7.0	41.6
災害復旧費	46,033	0.3	5,556	0.1	12.1
公債費	2,056,126	11.5	1,005,957	14.5	48.9
諸支出金	0	0.0	0	0.0	0.0
予備費	112,539	0.6	0	0.0	0.0
<b>歳出合計</b>	<b>17,841,633</b>	<b>100.0</b>	<b>6,929,312</b>	<b>100.0</b>	<b>38.8</b>

## (2) 特別会計

表 1 6 特別会計別歳入予算執行状況 (9月30日現在) (単位: 千円、%)

款名	予算現額 (a)	収入済額 (b)	収入率
	金額	金額	b/a*100
阿蘇山観光事業特別会計	72,000	28,784	40.0
下水道事業特別会計	545,881	317,936	58.2
国民健康保険事業特別会計	3,585,311	1,609,013	44.9
介護保険事業特別会計	3,597,867	1,517,077	42.2
後期高齢者医療事業特別会計	529,183	147,453	27.9
坂梨財産区特別会計	24,405	12,796	52.4
古城財産区特別会計	8,817	6,255	70.9
中通財産区特別会計	27,459	20,909	76.1
宮地財産区特別会計	39	22	56.4

表 1 7 特別会計別歳出予算執行状況 (9月30日現在) (単位: 千円、%)

款名	予算現額 (a)	支出済額 (b)	支出率
	金額	金額	b/a*100
阿蘇山観光事業特別会計	72,000	28,784	40.0
下水道事業特別会計	545,881	185,710	34.0
国民健康保険事業特別会計	3,585,311	1,386,494	38.7
介護保険事業特別会計	3,597,867	1,347,925	37.5
後期高齢者医療事業特別会計	529,183	110,142	20.8
坂梨財産区特別会計	24,405	1,446	5.9
古城財産区特別会計	8,817	562	6.4
中通財産区特別会計	27,459	2,295	8.4
宮地財産区特別会計	39	0	0.0



### 第3 市税の収入状況

令和4年度における令和4年9月30日現在の市税の収入状況は、以下のとおりです。

表18 令和4年度上半期（令和4年4月1日～令和4年9月30日）における市税の収入状況

（単位：千円、%）

	予算額 (A)	調定額 (B)	収入額 (C)	収納率 C/B
普通税	2,914,323	2,045,914	1,844,910	90.2
市民税	1,097,087	175,104	612,364	349.7
うち 個人市民税	933,210	57,691	498,138	863.5
うち 法人市民税	163,877	117,413	114,226	97.3
固定資産税	1,508,302	1,642,722	1,015,795	61.8
軽自動車税	112,936	117,940	106,603	90.4
市たばこ税	195,980	110,142	110,142	100.0
鉱産税	18	6	6	100.0
目的税	28,808	11,095	14,018	126.3
入湯税	28,808	11,095	14,018	126.3
合計	2,943,131	2,057,009	1,858,928	90.4
	予算額 (A)	調定額 (B)	収入額 (C)	収納率 C/B
国民健康保険税	639,907	865,847	323,151	37.3

## 第4 市債、一時借入金及び財産の状況

### 1 市債の状況

市債とは長期的な計画に基づいて多額の経費を必要とする大規模な建設事業や臨時的な災害復旧費などの資金調達のために負担する債務で、その返済が一会計年度を越えて行われる長期の借入金のことです。

令和3年度決算における普通会計の市債借入現在高について、市債発行額が前年度に比べ1,211,400千円減少し、一部の熊本地震関連事業の元金償還開始に伴い単年度の元利償還額が196,163千円増加したことにより、前年度に比べ781,613千円減少し、21,381,493千円となっています。

市債現在高を目的別に見ると、図15に示すとおり、臨時財政対策債（24.4%）が最も大きな割合を占めており、次いで土木債（22.8%）、教育債（13.7%）の順となっています。

また、資金の借入先別にみると、図16に示すとおり、財政融資資金からの借入が最も多く（47.2%）、次いで地方公共団体金融機構（24.4%）、市中銀行（18.9%）の順となっています。

図15 目的別市債残高（普通会計）

## 令和3年度末市債現在高（全会計）

28,917,428千円

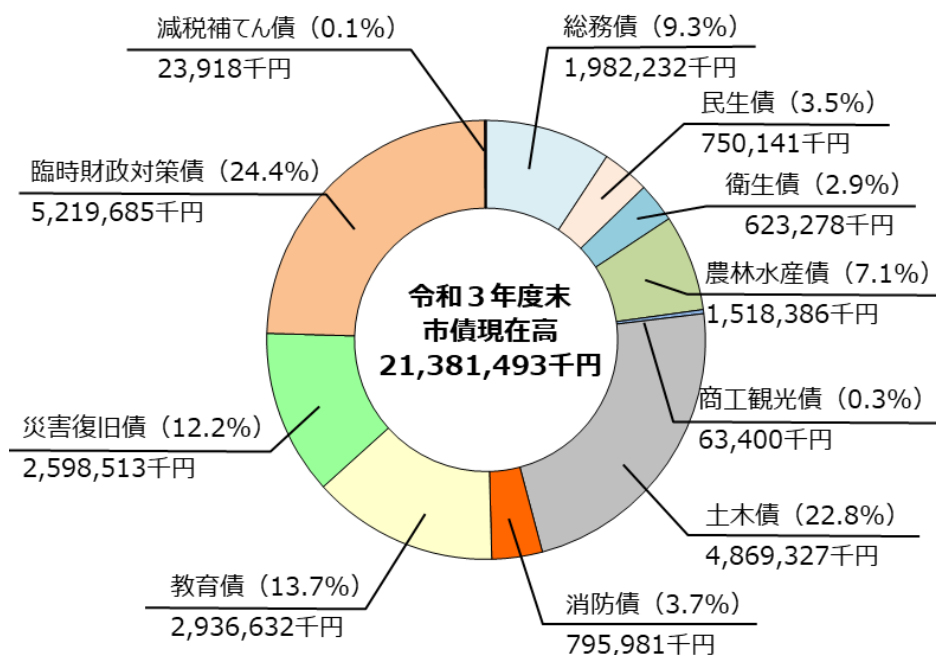
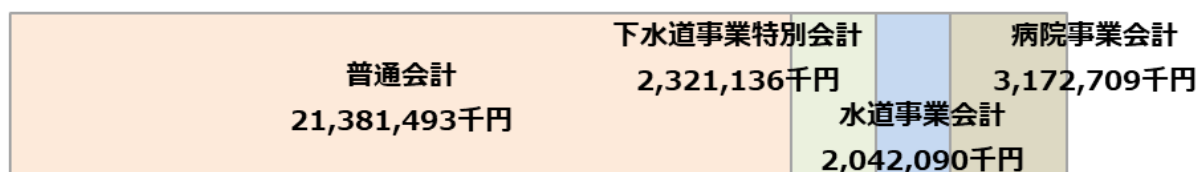
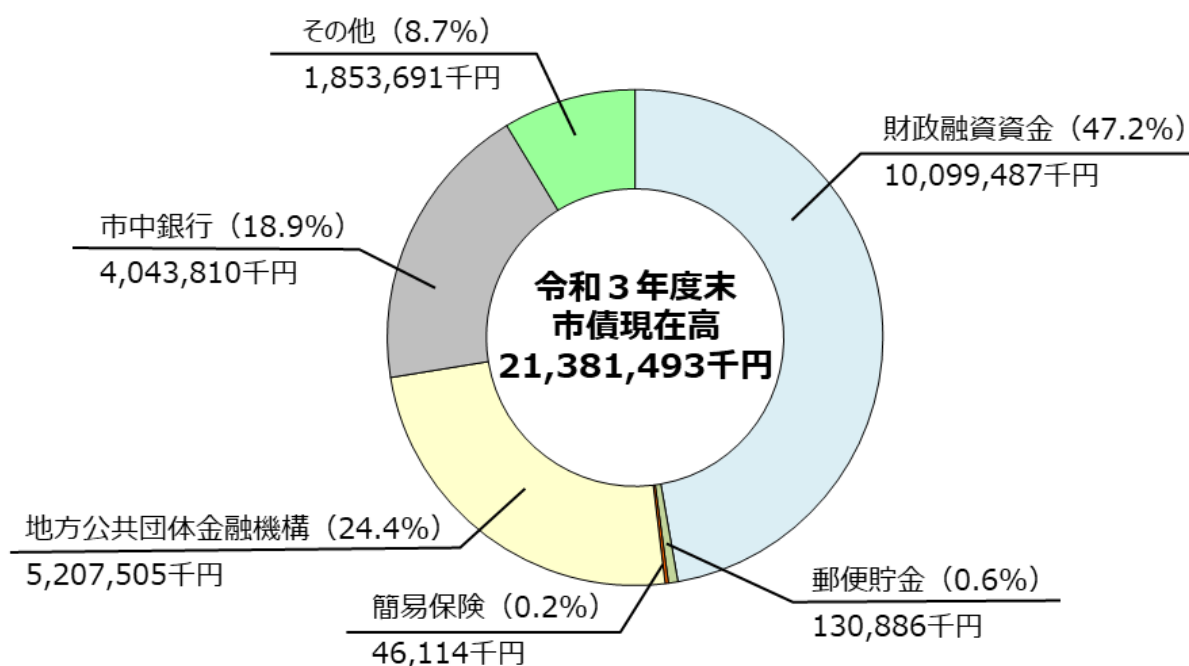


図16 借入先別令和3年度末市債現在高（普通会計）



## 2 一時借入金の状況

一時借入金とは歳計現金に一時不足が生じた場合、その資金繰りのためになされる借入金をいいます。  
令和3年度の一時借入金の状況は以下のとおりです。

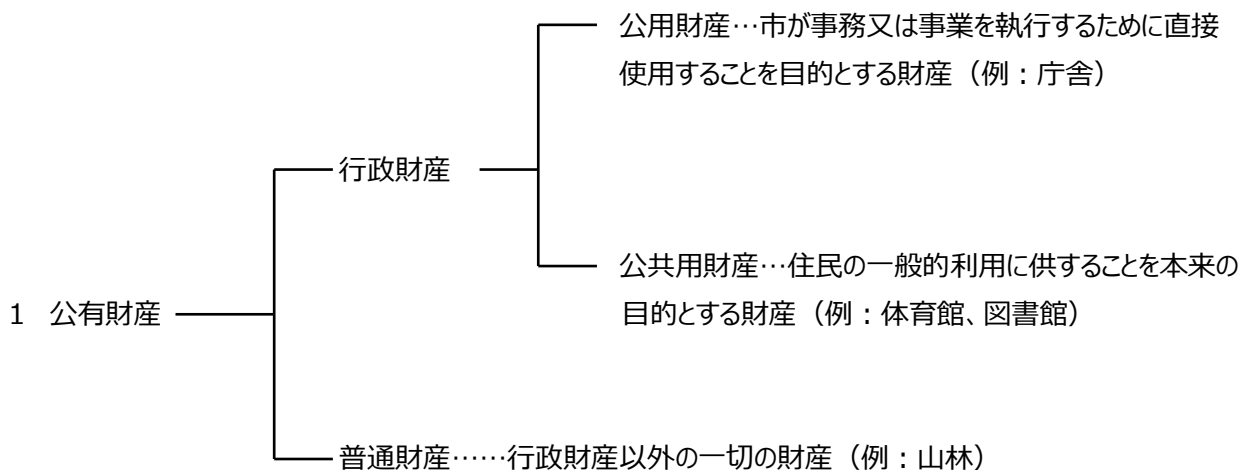
(単位：千円)

令和3年度決算借入額	令和3年度決算償還元金	令和3年度決算残高
0	0	0

## 第5 市有財産の状況

### 令和4年9月30日現在の市有財産の状況

市が所有する財産は、次のように分類されます。



2 物品……備品、消耗品、動物等

3 債権……金銭の給付を請求し得る権利 (例:有価証券)

4 基金……特定の目的のための財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するための基金

下記の項目により、令和4年9月30日現在の市有財産に関する状況を説明します。

#### 1 公有財産

- (1) 土地及び建物
- (2) 物品

#### 2 債権

- (1) 有価証券
- (2) 出資による権利

#### 3 基金

- (1) 一般会計
- (2) 特別会計

# 一 般 会 計

## 1 公有財産 (1) 土地及び建物

(単位：㎡)

区 分	土 地 (地積)			建 物										
				木 造 (延面積)		非 木 造 (延面積)		延 面 積 計						
	令和4年3月末 現在高	増 減	令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増 減	令和4年9月末 現在高	増 減	令和4年3月末 現在高	令和4年9月末 現在高					
行 政 財 産	本 庁 舎	24,344.66		24,344.66	1,134.25		1,134.25	4,730.85		4,730.85	5,865.10		5,865.10	
	その他の 行政機関	消防施設	2,573.13		2,573.13	0.00		0.00	100.78		100.78			100.78
		その他施設	2,095.00		2,095.00	149.04		149.04	0.00		0.00	149.04		149.04
	公 共 用 財 産	学 校	448,030.50	▲ 20,043.00	427,987.50	3,264.79		3,264.79	70,562.98	▲ 1,039.52	69,523.46	73,827.77	▲ 1,039.52	72,788.25
		公営住宅	193,616.18	▲ 10,883.32	182,732.86	9,260.30	▲ 1,986.70	7,273.60	35,717.21	122.90	35,840.11	44,977.51	▲ 1,863.80	43,113.71
		公 園	120,537.14		120,537.14	386.42		386.42	29.80		29.80	416.22		416.22
	山 林	その他の施設	2,457,306.38	20,043.00	2,477,349.38	14,303.01		14,303.01	78,982.13	1,039.52	80,021.65	93,285.14	1,039.52	94,324.66
		山 林	327,002.00		327,002.00			0.00			0.00			
	そ の 他	2,362,208.27		2,362,208.27				0.00			0.00			
	普 通 財 産	宅 地	56,467.94	▲ 28.58	56,439.36			0.00			0.00			
田 畑		0.00		0.00			0.00			0.00				
山 林		13,241,756.23	467.00	13,242,223.23			0.00			0.00				
そ の 他		67,575,166.59	979.43	67,576,146.02	152.68		152.68	12,053.26		12,053.26	12,205.94		12,205.94	
合 計		86,811,104.02	▲ 9,465.47	86,801,638.55	28,650.49	▲ 1,986.70	26,663.79	202,177.01	122.90	202,299.91	230,827.50	▲ 1,863.80	228,963.70	

# 特別会計

・阿蘇山観光事業

## 建物

(単位：㎡)

区分	木造 (延面積)		非木造 (延面積)		延面積計	
	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高
山上事務所			86.92		86.92	86.92

## ・下水道事業

### 土地及び建物

(単位：㎡)

区分	土地 (地積)						建物					
	木造 (延面積)		非木造 (延面積)		延面積計		木造 (延面積)		非木造 (延面積)		延面積計	
	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高	令和4年3月末 現在高	増減 令和4年9月末 現在高
その他の施設	19,793.92		19,793.92				3,705.32		3,705.32			3,705.32

# 一般会計

## (2) 物品

(単位：台)

区 分	令和4年3月末 現在高	増 減	令和4年9月末 現在高	備 考
普通乗用車	4		4	
小型乗用車	13		13	
普通乗合車	17		17	
普通貨物車 (配膳車含む)	7		7	
小型貨物車	4		4	
特殊用途自動車 (塵芥車)	2		2	
特殊用途自動車 (その他特殊)	6		6	
軽四輪貨物車	27		27	
軽四輪乗用車	19	▲ 1	18	廃車：福祉課 (2665)
特殊用途自動車 (消防ポンプ自動車)	3		3	
特殊用途自動車 (小型ポンプ自動車)	70		70	
大型特殊車	3		3	
合 計	175	▲ 1	174	

## 特別会計

### ・阿蘇山観光事業

#### 物 品

(単位：台)

区分	令和4年3月末 現在高	増 減	令和4年9月末 現在高
小型貨物車（熊本480㌢7016）	1	0	1

### ・下水道事業

#### 物 品

(単位：台)

区分	令和4年3月末 現在高	増 減	令和4年9月末 現在高
小型貨物車（熊本500㌢3939）	1	0	1



## (3) 有価証券

(単位：千円)

区 分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
株券 熊本木材株式会社	5	0	5
株券 東阿蘇観光開発株式会社	50,000	0	50,000
株券 株式会社まちづくり阿蘇一の宮(TMO)	2,500	0	2,500
株券 株式会社A S Oワークネット	10,000	0	10,000
合 計	62,505	0	62,505

## (4) 出資による権利

(単位：千円)

区 分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
阿蘇森林組合	6,508	0	6,508
熊本県信用保証協会	29,700	0	29,700
熊本県農業信用基金協会	6,940	0	6,940
(公社)熊本県畜産協会	2,440	0	2,440
(公財)くまもと産業支援財団	518	0	518
(公財)熊本県林業従事者育成基金	9,160	0	9,160
(公財)阿蘇地域振興デザインセンター	476,613	0	476,613
(公財)熊本県移植医療推進財団	1,493	0	1,493
(一財)熊本さわやか長寿財団	1,794	0	1,794
(一財)阿蘇テレワークセンター	30,000	0	30,000
(公財)熊本県雇用環境整備協会	3,100	0	3,100
(公財)熊本県暴力追放運動推進センター	810	0	810
(公財)阿蘇グリーンストック	50,000	0	50,000
(公財)熊本県林業公社	100	0	100
地方公共団体金融機構	2,100	0	2,100
(公財)熊本県環境整備事業団	17	0	17
(公財)熊本県農業公社	6,468	0	6,468
合 計	627,761	0	627,761

(5) 債権

一般会計

(単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
災害援護資金貸付金	20,540	△ 382	20,158
奨学資金貸付金	3,161	△ 220	2,941
住宅新築資金等貸付金	22,745	△ 221	22,524
結婚資金貸付金	1,265	△ 10	1,255

特別会計

(単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
公共下水道受益者負担金	1,234	600	1,834

(6) 基金（一般会計・特別会計）

一般会計

① 財政調整基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	1,747,809	127	1,747,936

② 減債基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	120,018	2	120,020

③ いこいの村管理基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	10,433	0	10,433

④ 人づくり・地域づくり事業基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	23,776	1	23,777

⑤ A S O環境共生基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	42,856	1	42,857

⑥ 教育施設整備基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	195,322	2	195,324

⑦ 地域情報化基盤整備基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	608,277	7	608,284

⑧ A S O田園空間博物館基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	47,231	1	47,232

⑨ 公共施設管理基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	310,093	6	310,099

⑩ 熊本地震復興基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	10,160	0	10,160

⑪ 地域振興基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	1,452,444	33	1,452,477

⑫ 森林環境譲与税基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	38,280	0	38,280

⑬ 新型コロナウイルス感染症金融対策基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	48,282	0	48,282

特別会計

① 国民健康保険財政調整基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	251,438	0	251,438

② 介護給付費準備基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	330,246	25	330,271

③ 坂梨財産区財政調整基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	25,055	0	25,055

④ 古城財産区財政調整基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	5,004	0	5,004

⑤ 中通財産区財政調整基金 (単位：千円)

区分	令和4年3月末現在高	増減額	令和4年9月末現在高
現金	30,012	0	30,012